

情報公開用文書

西暦 2020 年 6 月 5 日作成

研究課題名	新型コロナウイルス肺炎(COVID-19)重症化を予測するバイオマーカー開発の研究(単施設研究)
研究の対象	2020 年1 月から 2020 年12 月の間に当院を受診された新型コロナウイルス感染症の患者さんを対象とします。また、過去にインフルエンザまたは Dengue 熱の研究に参加された患者さんも対象とします。横浜市立大学のバイオバンクに保管されている健常者の検体も対象とします。
バイオバンクから提供する検体	20 人 20 本
研究目的・方法	<p>新型コロナウイルス(SARS-CoV-2)による感染症(COVID-19)患者の多くは軽症者で占められますが、高齢者・基礎疾患を有する者を中心に重症化率も高いです。有効な治療薬も未開発であり、重症化予測因子を突き止めることは重要です。本研究ではCOVID-19 重症化との関連性のある SARS-CoV-2 感染標的細胞由来の予測因子を検討するため、患者さんの残検体を用いてそのバイオマーカーとなる因子を探ります。同感染症の特徴を得るため、インフルエンザ、Dengue 熱患者さんや健康な方の残検体を用い、比較します。</p> <p>診療で採血した際の残余検体や診療録上の情報を収集しますので、治療法に影響を与えたり新たにご負担になったりすることはありません。健康な方の血液検体についても、バイオバンクから提供を受けますので、ご負担になることはありません。</p>
研究期間	承認日～西暦 2022 年 3 月 31 日
研究に用いる試料・情報の種類	<p>【情報】 SARS-CoV-2 感染症、インフルエンザ、Dengue 熱の患者さんについては、診療録から以下の情報を収集します。</p> <ol style="list-style-type: none"> 1) 患者基本情報: 年齢、性別、診断名、既往歴 2) 血液検査(末梢血血算<WBC, WBC 分画, Hb, Plt>、生化学<Alb, Cr, BUN, UA, T-Bil, CRP, AST, ALT, KL-6, SP-D,フェリチン, BS, HbA1c>、動脈血液ガス検査所見、尿所見)、微生物検査結果 3) 胸部画像検査 4) 治療内容(抗微生物療法、支持療法、呼吸管理など) 5) 治療経過(予後を含む) 6) 免疫抑制または賦活化作用を有するサイトカインまたは蛋白質。 <p>健常者については、バイオバンクに登録されている以下の情報を収集します。</p> <ol style="list-style-type: none"> 1) 性別、年齢 <p>【試料】 診療で採血した際の残余検体およびバイオバンクに保管されている検体を使用します。</p>
バイオバンクから提供する情報の種類	年齢、性別、試料採取日、感染症情報
<p>問合せ先および研究への利用を拒否する場合の連絡先： 横浜市立大学先端医科学研究センター内 バイオバンク室 電話：045-787-2592 メール：sentanbb@yokohama-cu.ac.jp</p>	